

花とみどりのまちづくり構想（第6期）における重点的取組の実績の概要について

【1】自然との共生に向けた理解の醸成

- ・生物多様性保全に関する意見交換
⇒ 生物多様性市民懇談会にて、みどりの基本計画策定にあたりグリーンインフラの多面的効用について生物多様性の観点から意見交換
- ・市民意識の醸成・普及啓発
⇒ SNS や窓口に生き物マップと一緒に調査用紙を掲載し生き物調査を実施。

【2】水辺環境保全の啓発

- ・生物多様性に関する市民の理解
⇒ 「朝霞の環境」を発行
- ・きれいなまちづくり運動
⇒ 春・秋開催 計 35,466 人参加
- ・荒川河川敷不法投棄物一斉撤去
⇒ 11月14日実施 14 人参加

【3】緑被率調査等の実施・分析を踏まえたみどりの基本計画の改訂

- ・市民協働の生き物調査
⇒ みどりの基本計画策定に向けた意見交換の場として生物多様性市民懇談会を計3回開催



【4】朝霞市みどりのまちづくり基金による緑化支援

- ・市民や団体による緑地保全・緑化活動の支援
⇒ 寄附型児童販売機の設置（7台）
 - 朝霞駅南口駅前広場、朝霞駅南口地下自転車駐輪場、
 - 朝霞駅東口地下自転車駐輪場、北朝霞駅東口駅前広場、
 - 北朝霞駅東口地下自転車駐車場、北朝霞公園、青葉台公園
- 売上的一部分をみどりのまちづくり基金へ寄附
⇒ 新電元工業㈱より、みどりのまちづくり基金へ10万円の寄附受領



【5】休耕期間の緑肥対策事業

- ・農地の耕土流出の防止や土ぼこりの抑制を図る。
⇒ 緑肥作物の種子の配布（5月、10月）

【6】農業体験の実施

- ・都市農業に対する理解醸成

⇒ 農業体験を実施 6月 ジャガイモ掘り
10月 さつまいも掘り
12月 にんじん掘り
1月 冬野菜収穫体験



【7】街路樹管理計画の策定等による公共空間における花や緑の適正管理

- ・公園の植栽の適正な維持管理

⇒ 公園内の見通しを悪化させている樹木の剪定
⇒ 公園・緑地等の樹木点検及び枯損木の伐採

- ・市民等の協働による身近な花や緑の維持管理

⇒ ボランティア団体数(R5→R6)

道路：24団体→23団体

公園：19団体→19団体

【8】基地跡地公園・シンボルロードの整備

- ・緑化重点地区の緑化推進

⇒ 植栽剪定・ゴミ清掃など維持管理及び市民によるゴミ拾い

- ・にぎわいづくりの拠点としての機能の発揮

⇒ 彩夏祭

⇒ ASAka STREET TERRACE (R6.11.2~11.3)

⇒ あさか冬のあかりテラス (R6.11.30~R7.1.26)

⇒ ちいさなテラス (2回開催)

⇒ ビアテラス (10回開催)

- ・市民参加の公園づくり

⇒ シンボルロード管理運営を考える会議を開催(R7.1.26)



【9】学校の壁面・屋上緑化及び校庭芝生化の維持管理事業

- ・暑さ対策・砂塵対策・怪我防止

⇒ 壁面緑化、屋上緑化及び校庭芝生の維持管理を継続的に実施

【10】まぼりみなみ公園・まぼりひがし公園・みやど公園の利用ルールづくり

- ・市民参加の公園づくり

⇒ 公園の使い方を地域の方々と考えるワークショップを開催
(根岸台地区2回、宮戸地区2回)



【11】みどり空間の魅力向上施策の検討

- ・市民がお互いに目配りできる「地域の庭」
 - ⇒ サインのデザインの検討・決定
ワークショップで出た意見を基に、みやど公園・まばりひがし公園において看板にQRコードを印刷し、利用ルールや注意事項をスマートフォンで確認することができるようとした。
- ・子どもの外遊びの場の創出
 - ⇒ 移動式プレーパーク「プレーパークキャラバン」の実施
北割公園、北朝霞公園、島の上公園、城山公園、泉水公園、根岸台自然公園、弁財公園、宮台公園、宮戸ハケタ公園、向原公園の10公園にて30回開催

【12】公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新

- ・老朽化が進む公園施設を市民が安全に安心して利用できるようにする。
 - ⇒ 滝の根公園において遊具の更新工事を実施（木製遊具の一部）

